

【「読むこと」部会】

第3学年 国語科学習指導案

授業者 熊本市立長嶺中学校 教諭 長元 尚子

1 題材

「挨拶—原爆の写真によせて」(光村図書3年)

2 題材について

(1) 生徒の実態

男子20名、女子20名、計40名、比較的落ち着きのある学級である。1学期から、互いの考え、思い、意見の交流を心がけてきており、徐々に発言する生徒はふえてきたものの、多数の生徒が発言するまでには至っていない。

○これまで、原爆の被害者の写真を見たことがある生徒は21人である。

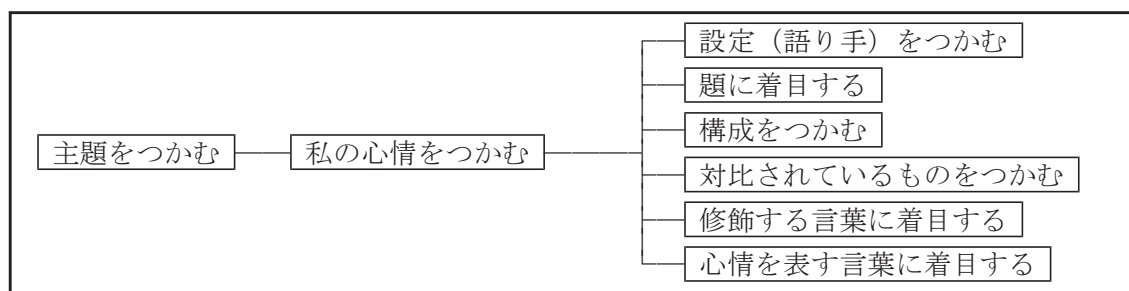
○「わたしを束ねないで」(詩)では主に対比された表現や表現技巧に着目して学習した。それをもとに自分の生き方を表現する活動をした。

○授業中の話し合い活動が好きだという生徒は23名おり、理由は主に「いろんな人の考えを知ることができる。」をあげている。

(2) 題材観

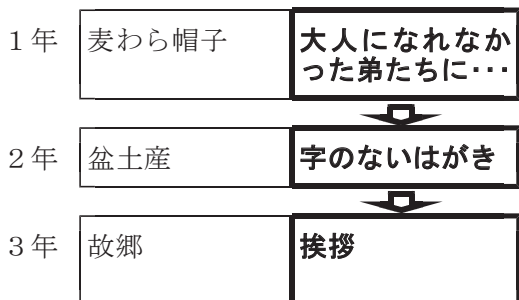
本題材の「挨拶—原爆の写真によせて」(石垣りん作)は、広島市の被爆者の写真を見て作られた詩である。

本題材は、被爆者の写真の「焼けただれた顔」と、今、目の前にしている友や私の「すこやかな今日の顔」を対比させて描かれている。そして、「一瞬にして死んだ二五万人の人すべて」「あなた」「私」の『原爆など落ちるはずはない。』という思いを「油断」という言葉で表現している。作者は原爆の犠牲者「二五万人の人すべて」に哀悼の気持ちを抱きながらもあえて「油断」という言葉を使うことで、自分を取りまく状況に危機意識を持って生きていかなければならないという読者への強いメッセージを発している。我々を取りまく現実の厳しい社会状況に気づくことで、これからの時代を生きる生徒が自らの生き方を考えるにふさわしい題材であると考えられる。

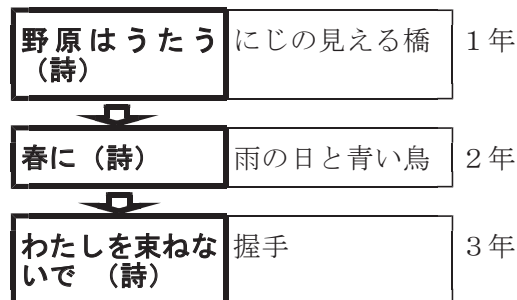


(3) 系統観

◎表現に着目し、人柄や心情を読みとる系統



◎文学的文章の基本を学び、表現に親しむ系統



(4) 指導観

生徒の初発の感想に出てきた疑問を学習につなげ、「焼けただれた顔」と「すこやかな今日の顔」という対比や心情を表す言葉に着目させ、それを解釈することにより、「私」の心情に気づかせたい。そして、自分を取りまく危機的状況を認識して生きていく必要性を唱える作者のメッセージに迫らせる。

また、「対話」を授業の中で位置づけ、他者の考えを聞くことにより、自分の考えを広げたり、深めたりできるようにしたい。そのために自分の考えを持つ時間を充分にとり、他者と考えを交流させ、その中で生徒から出された疑問が解き明かされていくようにしたい。ひとりひとりの自己表現の場を確保するために、班活動の中で対話をさせる。

3 題材の指導目標

- (1) 現代の危機意識について書かれた詩を読ませ、人間や社会の在り方について考えさせる。
 (2) 表現や語句に着目させながら、詩に一貫して流れる作者の思いを読み取らせる。
 (3) 表現されている作者の主張や意見を、現実の社会状況に気づかせながら理解させる。

4 評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	・状況を自分なりに想像し、表現に寄り添いながら、作品を読もうとしている。
イ 読む能力 言語についての知識・理解・技能	・ポイントとなる語句・表現を理解している。
ウ 読む能力	・作品の世界を現実の世界と対応させ、作者の主張や意見を理解している。

5 単元の指導過程 (全3時間)

次	時	学習活動	支援上の留意点	主となる評価規準と評価方法
第一次	1	1 初発の感想を書く。 2 作品の設定と語り手(視点)をとらえる。 3 構成を考える。	○時 場 人 もの 視点を考えさせる。 ○根拠を明らかにして、前半後半にわけさせる。 ○対比された表現を確認する。	イ作品の設定をつかんでいる。(ワークシート) イ対比されたことをつかみ、作者の気持ちの変容に気づいている。 ア、イ写真を見たときの「私」の心情を理解している。(ワークシート)
		4 前半(第二連まで)を読んで、「私」はどんな写真を見て、どんな気持ちになったのかを考える。 5 「向き合った互いの顔」とは誰と誰の顔を指し、どんな表情をしているのかをつかむ。	○詩の中の言葉を根拠に「あ、」にこめられた「私」の気持ちを考えさせる。 ○「友」と「私」の顔を指し、「すこやかな今日の顔」「すがすがしい朝の顔」をしていることを確認する。	イ「友」と「私」の顔を指し、「すこやかな今日の顔」「すがすがしい朝の顔」をしていることを理解している。(ワークシート)
第二次	1 本 時	6 後半を読んで、「私」はなぜ、「向き合った互いの顔をも一度見直そう」と言っているのかを考える。 ①「私」が「りつぜん」とした理由を考える。 ②「油断」にこめられた「私」の心情を考える。	○心情を表す表現に着目させる。 ○根拠を明らかにしながら「私」が「りつぜん」とした理由を考えさせる。 ○なぜ、「私」は「油断」と言っているのかを考えさせる。	イ「私」が「りつぜん」とした時の心情を理解している。(ワークシート) イ「対比」されている中の、「共通のもの」に気づいている。(観察) イ「危機的状況を認識せず、原爆など落ちるはずはない」と思っているからというところをつかんでいる。(観察)
		7 なぜ「挨拶—原爆の写真によせて」という題なのかを考える。 8 作者のメッセージに返事を書く。	○自分たちが考える「挨拶」との違いを考えさせる。 ○6をふまえて返事を書かせる。	ア、イこれまでの学習活動をもとに考えている。(観察) ア、ウ作者のメッセージと現在の社会状況をふまえ、返事を書いている。(ワークシート)

6 本時の学習

(1) 本時の目標

「向き合った互いの顔をも一度見直そう」という言葉に着目し、もっと危機意識を持って生きていくべきだというメッセージに気づくことができる。

(2) 本時の展開

過程	学習活動	時間	基本発問・指示
導入	1 前時の確認をする。	5分	○「向き合った互いの顔」とは誰と誰を指し、どんな表情をしているとらえたか。
	なぜ、「私」は「向き合った互いの顔をも一度見直そう」と言っているのだろう。		
	2 学習課題の確認をする。		
展開	3 音読をする。	25分	○全員で音読しよう。
	4 心情を表す言葉について考える。		○心情を表す言葉に着目してみよう。
	(1)「私」が「りつぜん」とした理由を考える。	15分	○「私」はなぜ「りつぜん」としたのか、根拠となる言葉に線を引き考えを書こう。
	①根拠を明らかにしながら自分の考えを書く。		○3つの柱をもとにして、話し合いをしよう。 ①根拠を明らかにして自分の考えを持つ。 ②他の人の考えをふまえて自分の考えを明らかにする。 ③他の人の考えで疑問に思ったことを質問する。
	②班内で自分の意見を出し合う。		○話し合ったことをもとに考えを出し合ってみよう。
	③他の班の人の意見を聞く。		
	(2)「油断」にこめられた「私」の心情を考える。	15分	○「私」は、誰が「油断していた」と言っているのだろう。
	①根拠を明らかにしながら自分の考えを書く。		○「私」はなぜ、「油断」という言葉を使っているのか、根拠となる言葉に線を引き、考えを書こう。
	②周囲の人と話し合いをする。		○根拠を明らかにしながら、周囲の人と考えを出し合ってみよう。
	③他の人の意見を聞く。		○話し合ったことをもとに考えを出し合ってみよう。
まとめ	5 なぜ、「私」は「向き合った互いの顔をも一度見直そう」と言っているのかを書く。	5分	○なぜ、「私」は「向き合った互いの顔をも一度見直そう」と言っているのかを書こう。

教師の支援	評価（評価方法）	備考
<ul style="list-style-type: none"> ○「友」と「私」を指し、「すこやかな」「すがすがしい」表情をしているということを確認する。 		ワークシート
<ul style="list-style-type: none"> ○課題を意識させながら読ませる。 ○心情を表す言葉、「りつぜん」「油断」に着目させる。 ○「すこやかな今日の顔」「焼けただれた顔」（対比された表現）に着目させる。 ○机間指導をしながら、全員が発言できるようにする。 ○根拠を明らかにして、考えを発表させる。 ○根拠をもとに、「私」が「りつぜん」とした理由を述べさせる。 ○手だてとして、「りつぜん」の意味「指示語」「明日の表情」を確認する。 ○「油断」しているのは「あなた」「私」も同じであることに気づかせるために、修飾する言葉に着目させる。 ○「何か」「手の中に」「毎朝」（修飾する言葉）に着目させる。 ○根拠を明らかにして考えを出し合わせる。 ○「何か」「毎朝」などに着目し、危機的状況にあるにもかかわらず、原爆など落ちるはずがない思いこんでいる状況を「油断」という言葉で表現したことに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○根拠に線を引き、考えをかいているか。（観察） ○3つの柱を意識して、話し合い活動に積極的に参加していたか。（観察） ○「すこやかな」顔をしている「あなた」と「私」の中に「焼けただれた顔」を見るからだということを理解できたか。（観察・発表） ○根拠に線をつけ、考えをかいているか。（観察） ○危機的状況にある自分たちであるにもかかわらず、原爆など落ちるはずがないと思いこんでいる状況を「油断」という言葉で表現したということを理解できたか。（観察・発表） 	広用紙 フラッシュカード ワークシート フラッシュカード ワークシート
<ul style="list-style-type: none"> ○授業で出された考えを参考に書かせる。 ○自己評価をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○なぜ、「私」は「向き合った互いの顔をも一度見直そう」と言っているのかを書くことができたか。（ワークシート） 	ワークシート